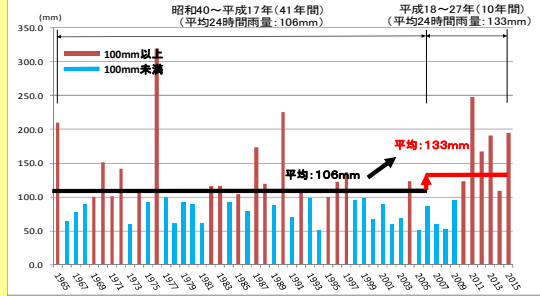


【計画名称】 八家川流域浸水対策プラン

【兵庫県姫路市】

流域の概要

- 兵庫県姫路市に位置する八家川流域は、河川整備並びに内水対策に取り組んできたものの、近年多発する豪雨で、度重なる浸水被害が生じている。
- 近年では、平成23年9月台風第12号(243.5mm/24h)により、床上浸水14戸、床下浸水103戸の浸水被害が発生した。
- 市街化の進展等により、流域内人口が増加している。
20,028人(S46)→28,882人(H28) 約1.4倍
- 最近10年間では、年最大24時間雨量が増加している。
平成17年まで : (平均値)106mm
平成18年～27年 : (平均値)133mm
- 河川・下水の法定計画
・河川(整備計画 W=1/20)
・下水道(雨水:事業計画 W=1/10)
- 流域浸水対策プランで対象とする降雨
平成23年9月台風12号 最大時間雨量 243.5mm/24h、55mm/h



浸水被害の主な要因

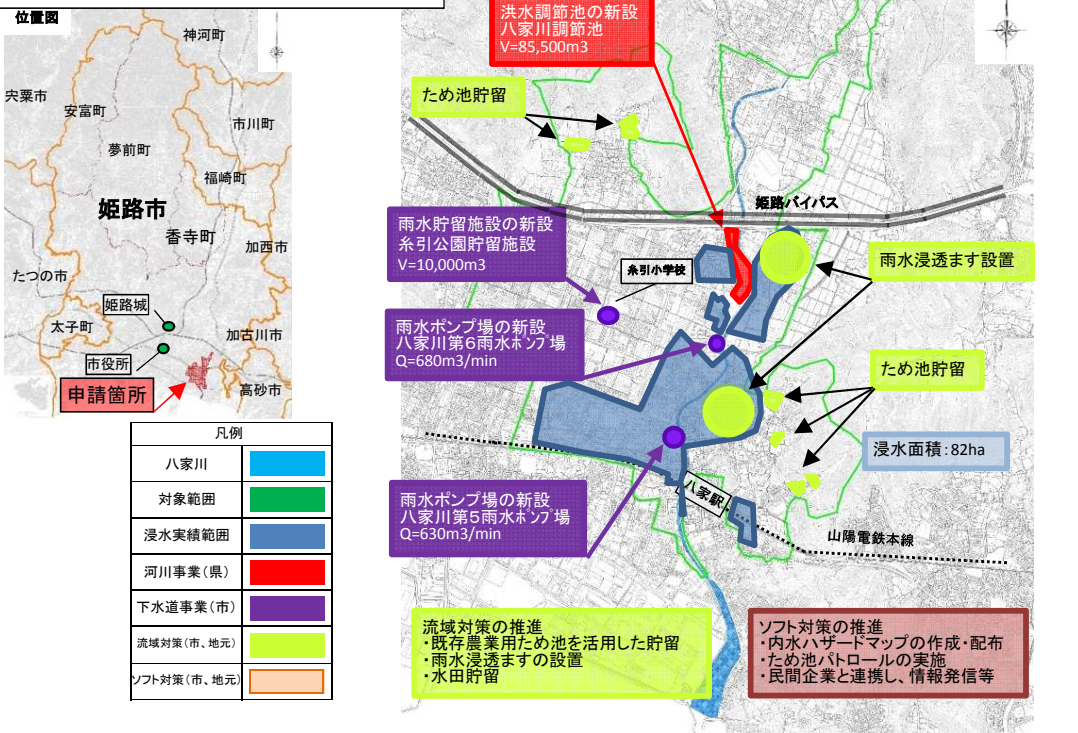
- 下水道(雨水排水)の整備を進めているが、近年事業計画を上回る降雨の発生により、流域が浸水する危険性が増大
 - 流域内の市街化の進展等により、雨水が河川へ流れ込みやすくなり、流域から河川への雨水の流出量が増加
- ⇒ 流域の関係機関が一体となりハード・ソフトの治水対策を効果的に組み合わせ推進する必要がある。

八家川流域の総合的な治水対策について、兵庫県・姫路市・地元住民からなる「八家川流域浸水対策協議会」で検討し、関係機関が対策を実施

八家川流域浸水対策協議会 平成27年9月～

組織	部局
兵庫県	河川整備課、姫路土木事務所、姫路港管理事務所
姫路市	河川整備課、下水道整備室
地域住民	ヤギ シラハマ イトヒキ 八木、白浜、糸引地区連合自治会及び農区

八家川流域浸水対策箇所図



取組の内容

- 実施方針
 - ①浸水被害の危険性が高い対象区域において、河川事業と下水道事業の連携による集中的な整備を実施
 - ②対策効果の早期発現
 - ③兵庫県、姫路市、地域住民が連携し、情報周知等によるソフト面の対策
 - ④河川の氾濫を想定した水防訓練の実施等、地域における水防災活動の強化
- 対策効果の早期発現を目指したハード対策
 - ①調節池を整備することにより、下流の洪水流量を低減(兵庫県)
 - ②内水排除能力を増強するため、雨水ポンプ場を2箇所新設(姫路市)
 - ③流出抑制のため、公園整備に合わせた雨水貯留施設を新設(姫路市)
- 流域対策
 - ①農政部局と連携し、既存のため池・水田による貯留効果の活用(姫路市、住民)
 - ②雨水浸透ますの設置による流出抑制(姫路市)
- ソフト対策
 - ①内水ハザードマップの作成・配布、ため池パトロールの実施(姫路市、住民)
 - ②「ひめじ防災ネット」やエリアメール並びに民間企業と連携し緊急放送として情報発信(姫路市、民間企業)

取組の効果

対象とする降雨に対して、床上及び床下浸水被害の低減及び浸水エリアの縮小を図る。